

○立命館アジア太平洋大学アジア太平洋研究科研究科則

2020年2月4日

規程第1179号

(趣旨)

第1条 この研究科則は、立命館アジア太平洋大学学則第15条の2第4項にもとづき、アジア太平洋研究科の教育課程、授業科目および修了に関する事項について定める。

(英文表記)

第2条 研究科、課程および専攻の英文表記は、次の各号のとおりとする。

- (1) アジア太平洋研究科 Graduate School of Asia Pacific Studies
- (2) 博士前期課程 Master's Program
- (3) 博士後期課程 Doctoral Program
- (4) アジア太平洋学専攻 Major in Asia Pacific Studies
- (5) 国際協力政策専攻 Major in International Cooperation Policy

(教育研究上の目的)

第3条 アジア太平洋研究科は、アジア太平洋地域が発展する上で必要となる行政・環境・経済開発等に関する高度な専門性を有し、課題を実践的に解決し、アジア太平洋地域の持続的発展と共生に貢献する人材を育成することを目的とする。

2 アジア太平洋研究科博士前期課程アジア太平洋学専攻は、アジア太平洋地域が発展する上で必要となる国際関係、社会・文化等に関する専門領域の研究において高い水準の関心を持ち、高度な専門的技能と知識を有すると共に、課題を実践的に解決し、アジア太平洋地域の持続的発展と共生に貢献する人材を育成することを目的とする。

3 アジア太平洋研究科博士前期課程国際協力政策専攻は、アジア太平洋地域が発展する上で必要となる行政、環境、開発、観光等に関する専門領域の研究において高い水準の関心を持ち、高度な専門的技能と知識を有すると共に、課題を実践的に解決し、アジア太平洋地域の持続的発展と共生に貢献する人材を育成することを目的とする。

4 アジア太平洋研究科博士後期課程アジア太平洋学専攻は、アジア太平洋地域が発展する上で必要となる新たな学問(領域)を切り拓く高度な能力を養成すると共に、アジア太平洋地域の持続的発展と共生に貢献する研究者や博士学位を有する高度専門職業人を育成することを目的とする。

(教育課程の編成)

第4条 アジア太平洋研究科博士前期課程の授業科目は、基礎分析科目、アジア太平洋地域

関連科目、演習科目、主要科目、固有専門関連科目および自由科目に区分し、これを2年間に配当して編成する。

2 主要科目の授業科目は、さらに国際関係研究分野科目、社会・文化研究分野科目、国際行政研究分野科目、サステナビリティ学研究分野科目、ツーリズム・ホスピタリティ研究分野科目および開発経済研究分野科目に分けて配置する。

3 アジア太平洋研究科博士後期課程の授業科目は、講義科目、演習科目、研究とプレゼンテーション科目、チュートリアルおよび自由科目に区分し、これを3年間に配当して編成する。

(授業科目)

第5条 授業科目の名称、単位数、授業方法、必修・選択・自由の別および配当セメスターは、アジア太平洋研究科博士前期課程においては別表1、アジア太平洋研究科博士後期課程においては別表2のとおりとする。

(同一授業科目の重複履修)

第5条の2 既に単位を修得した科目と同一の授業科目は、重ねて履修することはできない。

2 前項にかかわらず、別表において指定する科目については、同一の授業科目であっても、異なるテーマで開講されるものに限り、重ねて履修することができる。

(修了に必要な単位数)

第6条 アジア太平洋研究科博士前期課程アジア太平洋学専攻の修了に必要な単位数は、別表1に定める必修・選択・自由の別を必修とする授業科目を含み、かつ、アジア太平洋地域関連科目から4単位、演習科目から4単位、主要科目のうち該当する研究分野科目となる国際関係研究分野科目もしくは社会・文化研究分野科目から10単位を含めて32単位以上とする。ただし、自由科目の単位を含めることはできない。

2 アジア太平洋研究科博士前期課程国際協力政策専攻の修了に必要な単位数は、別表1に定める必修・選択・自由の別を必修とする授業科目を含み、かつ、アジア太平洋地域関連科目から4単位、演習科目から4単位、主要科目のうち該当する研究分野科目となる国際行政研究分野科目、サステナビリティ学研究分野科目、ツーリズム・ホスピタリティ研究分野科目もしくは開発経済研究分野科目から10単位を含めて32単位以上とする。ただし、自由科目の単位を含めることはできない。

(履修方法)

第6条の2 アジア太平洋研究科博士前期課程における演習科目は、別表3に定める授業科目を履修しなければならない。ただし、トリア専門単科大学との共同学位プログラム

(IMATプログラム)に参加する者は、この限りでない。

- 2 授業科目のうち、他の授業科目の単位の修得を履修の前提とするものについては、別表4に定める。

第7条 アジア太平洋研究科博士後期課程の修了に必要な単位数は、別表2に定める必修・選択・自由の別を必修とする授業科目を含み、30単位とする。ただし、自由科目の単位を含めることはできない。

(改廃)

第8条 この研究科則の改廃は、研究科委員会の議を経て、大学評議会で行う。

附 則

(施行期日)

- 1 この研究科則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 2019年度以前の入学者の教育課程の編成、授業科目および修了に必要な単位数については、第4条から第7条まで別表1および別表2にかかわらず、2019年4月26日施行の立命館アジア太平洋大学学則の定めるところによる。

附 則 (2020年11月24日 パブリック・ヘルス・マネジメント研究分野の解消に伴う一部改正)

- 1 この研究科則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 前項にかかわらず2021年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則 (2023年5月23日 固有専門関連科目の追加に伴う一部改正)

この研究科則は、2023年5月23日から施行し、2023年4月1日から適用する。

附 則 (2024年2月6日 履修方法の指定の明記に伴う一部改正)

- 1 この研究科則は、2024年2月6日から施行し、2023年4月1日から適用する。
- 2 前項にかかわらず、2023年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則 (2025年4月8日 教育研究上の目的の変更、同一授業科目の重複履修の追加等に伴う一部改正)

この研究科則は、2025年4月8日から施行し、2025年4月1日から適用する。

別表1 アジア太平洋研究科博士前期課程

科目名称		単位数	授業 方法	必修・選 択・自由 の別	配当セ スター
基礎分析科目	学術研究方法論	2	講義	必修	1

		情報リソースと計量分析	2	講義	必修	1
アジア太平洋地域関連科目		アジア太平洋社会文化論	2	講義	選択	1
		アジア太平洋政治経済論	2	講義	選択	1
		アジア太平洋環境開発論	2	講義	選択	1
		アジア太平洋観光論	2	講義	選択	1
		アジア太平洋健康論	2	講義	選択	1
		特別研究（アジア太平洋地域関連科目）※	2	講義	選択	1
演習科目		リサーチ・プロジェクト研究Ⅰ	2	演習	選択	1
		リサーチ・プロジェクト研究Ⅱ	2	演習	選択	2
		リサーチ・プロジェクト研究Ⅲ	2	演習	選択	3
		ファイナル・リサーチ・プロジェクト	2	演習	必修	4
主要科目	国際関係研究分野科目	地域主義とグローバリゼーション	2	講義	選択	1
		国際法	2	講義	選択	1
		国際政治経済研究	2	講義	選択	1
		比較政治論	2	講義	選択	1
		特別研究（国際関係）※	2	講義	選択	1
		紛争解決論	2	講義	選択	1
		安全保障論	2	講義	選択	1
	社会・文化研究分野科目	社会的構図の変容	2	講義	選択	1
		メディアとコミュニケーション	2	講義	選択	1
		国際移動論	2	講義	選択	1
		社会組織と制度	2	講義	選択	1
		日常生活の社会学	2	講義	選択	1
		特別研究（社会・文化）※	2	講義	選択	1
		文化変容論	2	講義	選択	1
	国際行政研究分野科目	災害の救済・復興	2	講義	選択	1
		特別研究（国際行政）※	2	講義	選択	1
		国際行政特論	2	講義	選択	1
		国際機構特論	2	講義	選択	1
		プロジェクト管理特論	2	講義	選択	1

		計画評価論	2	講義	選択	1
		コミュニティ開発論	2	講義	選択	1
	サス	環境資源保全	2	講義	選択	1
	テイ	応用地球環境学	2	講義	選択	1
	ナビ	環境行政論	2	講義	選択	1
	リテ	環境経済特論	2	講義	選択	1
	ィ学	持続可能都市論	2	講義	選択	1
	研究	産業生態学	2	講義	選択	1
	分野	特別研究（サステイナビリティ学）※	2	講義	選択	1
	科目					
	ツー	観光経済	2	講義	選択	1
	リズム	文化遺産観光	2	講義	選択	1
	ム・	環境観光学	2	講義	選択	1
	ホス	コミュニティ観光論	2	講義	選択	1
	ピタ	健康観光学	2	講義	選択	1
	リテ	特別研究（ツーリズム・ホスピタリティ）※	2	講義	選択	1
	ィ研					
	究分	観光政策・計画	2	講義	選択	1
	野科					
	目					
	開発	開発経済特論	2	講義	選択	1
	経済	マクロ経済学	2	講義	選択	1
	研究	開発金融特論	2	講義	選択	1
	分野	比較経済発展論	2	講義	選択	1
	科目	ミクロ経済学	2	講義	選択	1
		コミュニティ開発論	2	講義	選択	1
		特別研究（開発経済）※	2	講義	選択	1
固有専門関連科目		不確実性意思決定論	2	講義	選択	1
		情報技術と運用管理	2	講義	選択	1
		製品開発戦略研究	2	講義	選択	1

	マーケティング戦略研究	2	講義	選択	1
	マーケティング・リサーチ研究	2	講義	選択	1
	ホスピタリティ・マネジメント	2	講義	選択	1
	経営情報システム	2	講義	選択	1
	データベース管理	2	講義	選択	1
	応用計量分析と統計	2	講義	選択	1
	固有専門関連特修科目※	1	講義	選択	2・3
	固有専門関連特修科目※	2	講義	選択	2・3
自由科目	サバイバル日本語Ⅰ	2	講義	自由	1
	サバイバル日本語Ⅱ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅠ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅡ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅢ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅣ	2	講義	自由	1
	特別研究（日本語）※	2	講義	自由	1

※印のある科目は、重複履修可能科目

別表２ アジア太平洋研究科博士後期課程

	科目名称	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当セメスター
講義科目	アジア太平洋学研究方法	2	講義	必修	1
	アジア太平洋学理論	2	講義	必修	1
演習科目	アジア太平洋学特別研究Ⅰ	2	演習	必修	1
	アジア太平洋学特別研究Ⅱ	2	演習	必修	2
	アジア太平洋学特別研究Ⅲ	2	演習	必修	3
	アジア太平洋学特別研究Ⅳ	2	演習	必修	4
	アジア太平洋学特別研究Ⅴ	2	演習	必修	5
	アジア太平洋学特別研究Ⅵ	2	演習	必修	6
研究とプレゼンテーション	研究発表演習	2	演習	必修	3

ンテーション	リサーチ・ペーパーⅠ	4	演習	必修	2
科目	リサーチ・ペーパーⅡ	4	演習	必修	4
チュートリアル	チュートリアルⅠ	2	演習	必修	4
	チュートリアルⅡ	2	演習	必修	5
自由科目	サバイバル日本語Ⅰ	2	講義	自由	1
	サバイバル日本語Ⅱ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅠ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅡ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅢ	2	講義	自由	1
	日本語コミュニケーションⅣ	2	講義	自由	1

別表 3

科目名称
リサーチ・プロジェクト研究Ⅰ
リサーチ・プロジェクト研究Ⅱ
リサーチ・プロジェクト研究Ⅲ

別表 4

科目名称	単位の修得が必要な科目
サバイバル日本語Ⅱ	サバイバル日本語Ⅰ
日本語コミュニケーションⅠ	サバイバル日本語Ⅱ
日本語コミュニケーションⅡ	日本語コミュニケーションⅠ
日本語コミュニケーションⅢ	日本語コミュニケーションⅡ
日本語コミュニケーションⅣ	日本語コミュニケーションⅢ